

緑の相談所だより

— 66号 —

2000. 10. 1 発行

編集：財団法人旭川市公園緑地協会旭川市緑の相談所

秋～冬への鉢物の管理

日時 10月8日(日)
午後1:30～3:30

講師 旭川市緑の相談所
相談員 佐藤 文男

定員 いずれも50名

講習会

冬をむかえる洋らんの室内管理

日時 10月22日(日)
午後1:30～3:30

講師 旭川らん友会
会長 笠原幸三さん

参加費 無料

初心者のための花壇計画

日時 11月12日(日)
午後1:30～3:30

講師 旭川市緑の相談所
相談員 村田 正一

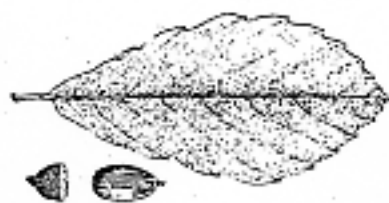
のお知らせ

鉢物と観葉植物の室内管理

日時 11月26日(日)
午後1:30～3:30

講師 旭川市緑の相談所
相談員 佐野 元雄

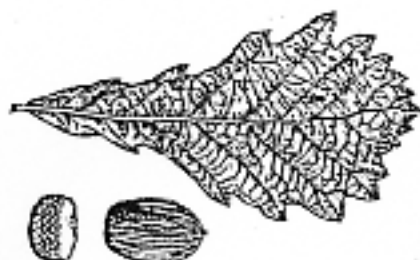
お申し込み・お問い合わせは 旭川市緑の相談所 ☎65-5553



コナラ

Quercus serrata

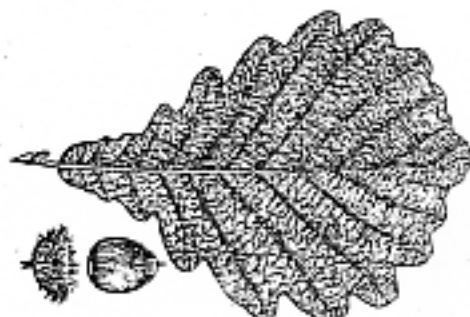
北海道から九州までの山地や丘陵地に見られる落葉樹。コナラ、ミズナラ、ウバメガシのドングリは殻斗も実もよく似ている。ウバメガシは常緑で分布が特異。種を二つはよく似ているが葉の形で判別がつく。



ミズナラ

Quercus mongolica var. grosserrata

北海道から九州までの山中に普通に見られる落葉樹。ドングリはコナラによく似ている。見分け方は木の葉。ミズナラは葉柄がないか、かなり短い。コナラより高地に多い。木が太いので家具や楽器などに使われ、実は炭を焼いて餅などにして食べたという。

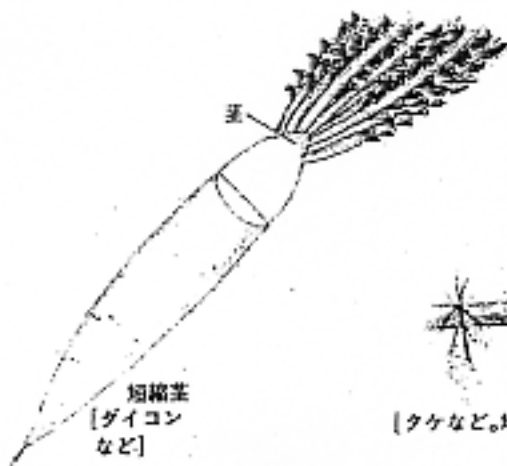


カシワ

Quercus dentata

九州から北海道まで自生しているが本州中部以北に多い落葉樹。ドングリは球状でクヌギやアベマキと似ている。区別がつけやすいのは葉。かしの餅に使われるのがこの木の葉で大きなものは30cmにもなる。

茎のいろいろ



短縮茎
[ダイコン
など]



地下茎
[タケなど。地中を横に伸びる茎]



多肉茎
[サボテン類など]



巻き茎
[アサガオなど]

よじ登る茎
[エンドウなど]



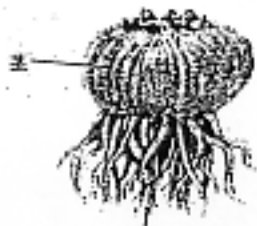
走茎[オリヅルランなど。
横に這って節から根と
上に立つ茎を出す。定枝ともいう]



羽
[カラタチなど。
刺状になった茎]



巻きひげ
[ブドウなど。
ひげ状になった茎]



球茎[シクラメンなど。
球形に肥大した
地下茎の一種]



匍匐茎
[サツマイモなど。地上を這う茎]



浮茎[バイカモなど。
水に浮かぶ茎]



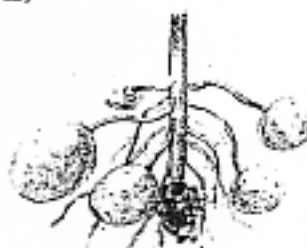
直立茎
[こくふつうの茎]



根茎[ハスなど。
根のように
見える地下茎
の一種]



球芽
[ヤマイモなど。養分がたまって塊状に
なったもの。地上に落ちて発芽する]



塊茎[ジャガイモなど。
養分を貯える地下茎の一種]



鱗茎[タマネギなど。
鱗片葉の元にある地下茎の一種]



葉状茎
[ナギイカグなど。
葉のように見える茎]

秋の庭仕事

10、11月の園芸作業

○ 球根の掘り上げ、保管、植え込み

- ・ユリ ～ 2～3年くらいは植えたままで良いが、植替える場合は茎葉が完全に枯れてから掘り上げ、「球根が乾かないうち」に深めに植え込みます。
- ・グラジオラス ～ 霜で葉が枯れてから掘り上げ、球根を大小に選別しよく乾かし、湿気のない凍らないところで春まで保管します。
- ・アマリリス ～ 寒さで葉が枯れ始めたら葉を元から切り取り、掘り上げて根が乾かないうちに植替え、そのまま5℃前後で2～3ヵ月保管。または球根を紙袋等にいれ干からびない程度の湿度を保ち、低温で保管来春植替え。
- ・秋植え球根（チューリップ、クロッカス、スイセン、ムスカリ等）
10月中旬迄に植込を済ませます。植え穴の深さは球根の高さの3倍、間隔は球根3～4個分

○ 鉢物草花の入室と管理

- ・クンシラン ～ 降霜前に入室、8～10℃の場所で60日以上休眠させる。
- ・アザレア ～ 軽い霜が来るまでは戸外でよい、入室後は低温（10℃以下）の部屋に30日以上
- ・シャコバサボテン等の短日操作 ～ ポインセチアは50日間以上の操作で開始から約80日程で葉が赤くなる（日中20℃以上、夜15℃前後）。カランコエは30日間、シャコバサボテンは20日間以上の操作で開始から約60日で開花始め。両者とも日中20℃、夜15℃以下、水は控えめ。
「短日操作」=夜の暗い状態を1日14時間以上とする（電灯の明かるさも不可）

○ 畑の清掃と防除

- ・花壇・菜園 ～ 病気や害虫を越冬させないため、枯れた草花や収穫の終わった野菜の株、また雑草なども根から引抜くなどして一ヶ所に集め埋めるなどして畑の表面をきれいにします。できればこの時堆肥分と少量の石灰を施し深く耕しておきますと、来春は良い畑になっております。
- ・果樹・庭木 ～ 果樹のシンクイムシ、ケムシ、庭木のカイガラムシ、グンバイムシなど等の害虫のサナギや幼虫。果樹、庭木の灰星病、フクロミ病、モチ病サビ病等の病原菌は落葉の下、樹皮の割れ目、枯れた雑草等の下に潜み春を待っております。落葉などは丁寧に集め土に埋めるか、堆肥として積んでおきます。さらに降霜後石灰硫黄合剤10～30倍液を樹の幹に、また地面にも散布しておきますと効果的です。

○ 剪定

果樹、庭木等の剪定適期は秋の落葉後から春の芽だし直前までですが、カエデ類、シラカバ、果樹のブドウ等は秋のうちに済ませておくのと安全です。来春剪定が遅れますと切り口から樹液がしみだしが止まらず、樹勢の回復に時間がかかり枯れ込む場合もありますので注意してください。

③実がうまくつかない

- ①花は咲くが実を結ばない→ 1.雌雄異株の雄木か雌木 2.花粉が雨でぬれる 3.昆虫が飛んでこない
4.花粉がない 5.異常な低温、高温 6.栄養成長が強すぎる
- ②実は結ぶが途中で駄目になる→ 1.受精が不十分 2.栄養成長が強すぎる 3.光線不足
4.水不足 5.生理的落果 6.病虫害
- ③結んだ実が完全でない→ 1.小さい…根の障害・乾燥・栄養不足・なりすぎ 2.しわがよる…乾燥・根の障害
3.色が悪い………光線不足・栄養過多・病虫害
- ④花芽がつかない→ ㊦②花がうまく咲かない ※花芽がつかないの項目参照

※実もの（実なりをよくする5つのコツ） 育て方のポイント

- 1.花芽のつき方→花ものに準じます。（美しい花を咲かせる4つのコツの欄を参照）
- 2.実を結ばせる第一歩→ウメモドキなどは雌雄異株、雌株にしか実をつけません。雄株もいっしょに植えましょう。サクランボなどは1品種だけでは受精がうまく行かないことがありますので異なった品種を混植します。（ビリンゴ、ビリンゴ、ビリンゴ）
- 3.栄養過多の防止→ ナンテンは樹勢が強すぎると、花は咲いても実をつけないことがあります。樹勢の調節を。方法として断根、環状剥皮。
- 4.実の発育をよくし毎年結実させる→全部の枝に実をつけると、翌年の実つきがよくないので摘果します。
- 5.病気と害虫の防除→カイガラムシは冬の間予防を。アブラムシ、ハダニなども。

庭木・花木類（生育期の障害）自己診断

①光線不足の症状

- 1.茎が徒長して光の方を向く
2.節間が長く伸びる
3.葉柄が長くなり葉が垂れやすい
4.葉の色が薄く葉が大きくなる

②高温や強光線下の症状

- 1.葉の縁が下に巻く
2.下葉に茶色の斑点が入り
黄褐色になり落葉する

③水不足の症状

- 1.葉につやがなく新芽や葉がしおれる
2.下葉が黄色くなって落ちる
3.土の表面が乾く

④根詰まりした症状

- 1.新しい葉が小さく数も少ない
2.下葉が落ちやすい
3.根が表土に出てくる
4.根が鉢底から出てくる

⑤肥料過多の症状

- 1.新しい葉が他に比較して大きい
2.茎がやわらかい
3.土の表面に白い膜のようなものができる

⑥肥料不足の症状

- 1.新芽の生長がおそくなる
2.新しい葉が小さい
3.葉の色が淡くなる
4.下葉が黄色くなって落ちる

※休眠期の障害

①水や肥料を与えすぎの症状

- 1.葉が垂れ気味になる
2.茎や葉が軟らかくなる
3.下葉が黄色くなって落ちる

②空中湿度不足の症状

- 1.葉の表面が乾燥し生気がなくなる
2.ひどくなると葉の縁が縮れ茶色になってくる

※葉がきれいにできない

- ①葉に障害……葉が萎れる…水不足、根に障害、枝、幹に腐り
葉が枯れこむ……水不足、空気乾燥、日焼け他
葉の色が悪い…肥料不足、過湿、光線不足など
葉を巻く、縮れる………乾燥、害虫など
葉に穴があく………ケムシ、ミノムシほか
葉に粉状のものがつく………うどんこ病
葉に斑点ができる………さび病など
葉の斑（紅色、黄色など）きれいにでない